

日本語能力試験(JLPT)結果

N2 合格率 100%

N1 は 62.5%、N3 は 100%

N1 校内ベスト 3 (180 点満点)			
順位	氏名	出身	総合点
1	Nathanael Ian Gunadi	インドネシア	145
2	林 陳佑	台湾	130
3	蔡 雅筑	台湾	128

N2 校内ベスト 5 (180 点満点)			
順位	氏名	出身	総合点
1	Loy Yun Wei	マレーシア	180
2	彭 柏勳	台湾	176
3	Choatchaojaru Kritsakorn	タイ	171
4	Laura Lee Zi Lyn	マレーシア	163
5	顧 旻峰	マカオ	160

7月4日実施の日本語能力試験(JLPT)の結果が8月下旬に発表されました。昨年7月の JLPT は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により国内外の全会場で中止となったため、7月の実施は2年ぶりでした。(昨年12月は一部地域を除き実施。)

ただ、今回も台湾、香港などでは中止となり、オンラインの在校生は受験できませんでした。国内にいる44名の在校生のうち、35名がN1~N3の各級に挑みました。32名が合格し、校内全体の合格率は91.4%でした。

N1 トップはインドネシア学生

N1 では校内8名中5名が合格しました。合格率は62.5%でした。不合格の3名も、あと一歩という成績でした。次回に期待です。

校内トップは、6月の日本留学試験(EJU)の「日本語」で校内最高の344点だったNathanael Ian Gunadiさん(インドネシア)の145点でした。校内平均は111.9点、世界平均は95.2点でした。

N2 は世界平均を 46 ポイント上回る

N2 では、受験した21名全員が合格しました。N2は例年JETで8割前後の合格率ですが、100%は初めてです。

校内平均は137.9点で、世界平均の91.6点を46.3ポイントも上回る好成績でした。

マレーシア学生 N2 満点合格

N2を受験した21名のうち10名は非漢字圏(マレーシア、インドネシア、タイ)の学生でしたが、平均点は138.4点で、漢字圏の学生の平均点を超える、素晴らしい結果でした。

中でも、マレーシアのLoy Yun Weiさんは、180点満点という見事な成績を修めました。

初級から9か月でN2合格

N2の受験者のうち6名は、2020年10月入学時、初級クラスの学生でした。初級の学習から始めて9か月あまりという短い期間ですが、全員が合格しました。

N2校内2位の彭柏勳さん(台湾)もその一人です。満点に迫る勢いの176点という成績で、「言語知識」と「読解」では満点を記録しました。

N3 も全員合格

N3も、受験した6名全員が合格しました。校内平均は134.1点で、世界平均を37ポイント上回りました。トップは王東立さん(台湾)で、167点でした。

新入生 18 名を迎え 10 月期スタート

今学期は10月1日にプレースメントテストを行い、10月4日から6クラス編成で授業がスタートしました。新入生は18名(うち15名が海外からのオンライン受講)です。

入学式は、通常であれば授業開始前に行いますが、新入生の入国時期を考慮し、10月11日の実施としました。

新入生はZoom上で国籍別(言語別)に分かれ、山口校長、越野理事長、そして井上専務理事による歓迎の挨拶を受けました。在校生の金世熙さん(韓国)と、卒業生の陳柏仲さん(台湾)、Mahesa Pamungkas Sugihartoさん(インドネシア)、Wan Liang Jiaさん(マレーシア)が通訳にあたりました。

10月期の総学生数は73名です。国籍別の割合は、台湾が32%、インドネシアが25%、マレーシアが15%、韓国が7%、香港が6%、その他(マカオ、タイ、フィリピン、ベトナム、アメリカ、ミャンマー、日本)が15%です。



「新入生歓迎の挨拶をする山口校長」

オンライン学生へのサポート

JETでは昨年度より、オンライン受講の学生を対象に、フォローアップの時間を設けています。日本語を話す機会やクラス間の交流を増やすことを目的に、自由参加で行っていますが、多くの学生が積極的に参加しています。

学習院大から教育実習生

10月18日から29日までの2週間、学習院大学文学部日本語日本文学科から教育実習生を2名受け入れました。細江明世さん(右)と蓼沼芽来さん(左)です。



☆ ☆ ☆

自分の「原点」を見つめて

細江 明世

JET 日本語学校の皆様、2週間大変お世話になりました。

2週間の実習で、初級の授業だけではなく中級、進学コースの授業、山口校長先生による地域の日本語教室の授業まで、幅広い授業を見学させていただきました。また、専務理事の井上様には日本語教育の現状や課題、今後の展望を、山口校長先生にはJET 日本語学校の歴史等教えていただきました。この経験は、これから先の人生で99%経験することはできないだろうと思えるような、大変貴重で、とても価値のある、素敵な時間になりました。ありがとうございました。

そのなかでも特に印象に残った言葉は、井上専務理事がおっしゃっていた「原点に立ち返る」という言葉です。何度も壁にぶち当たっても、原点に立ち返ったことで今のJET 日本語学校がある、と私はお話を伺う中で感じました。そのお言葉を胸に、どんな道に進もうとも自分の芯だけは、原点だけは忘れずに頑張ろうと思いました。貴重なお話ありがとうございました。

また2週間の中で学生から、学ぶ楽しさを教えていただきました。皆が意欲的に授業を受ける姿を見ていて、私も勉強は好きではあるものの、わくわくした眼差しで学ぶことはなくなっていたのではないかと気づかされました。さらに、日本語非母語話者の方々々が日本に対して好意を持ってくださっていることが、嬉しくて嬉しくて仕方がなかったです。私も残りの大学生生活で、意欲的に学習したいと皆さんから刺激を頂く素敵な機会でした。

JET 日本語学校の皆様と出会えたこと、そしてこのような貴重な機会、素敵な思い出を頂けたこと、今後成長するためのアドバイスを頂けたこと、全てが自分の人生の宝となりました。そして、これからの人生でも日本語教育や、日本語非母語話者の方々との関わりを持ちつづけたという新たな目標を手に入れることができました。JET 日本語学校の皆様、本当にありがとうございました。

= = = = =

2年前の約束を果たせた教育実習

蓼沼 芽来

私は今回、初めて日本語教師という職業を教育実習生として体験しました。JET 日本語学校には2年前にも訪問させていただき、その時はまだコロナウイルスが流行していなかったため、教室には15名ほどの学生がおり、グループワークなどをして交流を深めたのを今でも覚えています。

私はその時、ひとりの学生と“ある約束”をしました。それは「またこのJET 日本語学校に戻ってくる」ということです。彼は当時、就職活動に悩んでおり、日本の企業で働くことに高い意欲を示していました。その2年後に私は教育実習生としてJET 日本語学校に戻ってきましたが、彼は既に卒業していました。彼が就職できたのかどうかはわかりませんが、彼との約束を果たせたという思いを胸に、2週間の実習期間を過ごしていました。

全クラスの授業を見学させていただき、それぞれのレベルにあった授業内容が展開されていることや、全学生が真面目に授業に取り組む姿を拝見し、先生方の偉大さに感銘を受けました。

また授業時間外では、学生に配布する資料の印刷や、片付け・清掃等のお仕事も体験させていただきました。教案作成には頭を悩ませましたが、先生方や授業を受けてくださった学習者からの手助けもあり、なんとか思い通りの授業を行なうことができました。この度はとても貴重な経験をさせていただき、誠にありがとうございました。

日本語教育業界はもちろんのこと、JET 日本語学校に携わる先生方や学生の皆さんの益々のご活躍を心より願っております。本当にありがとうございました。

東京女子大からインターン

本年6月から11月までの5か月間、東京女子大の学生をインターン生として受け入れました。

初めて目にした、触れた、「学校」の姿

杉山 佳子

6月からの5か月間、インターン生として週2回、JET 日本語学校でお世話になりました。主に初級・初中級クラスの授業見学と、見学後の学校事務のお手伝いをさせていただきました。その間、先生方と学生の皆さんから多くの事を学び、たくさんの刺激をいただきました。

先生方の授業では、いかに日本語を簡単な言葉で説明するかの手法や工夫が凝らされていて、日本語教育について何も知らない私には毎日が発見と驚きの連続でした。授業以外でも、日本に来られない学生さんたちを様々な形でフォローし、学生に寄り添っていらっしゃる先生方の姿を見ることができ、このコロナ禍という特殊な状況の中、現場でしか分かり得ない多くの体験もさせていただきました。

また、学生の皆さんにはとても良くしていただきました。授業見学の際も快く受け入れてくださり、休み時間には皆さんとお話するのがとても楽しみでした。慣れない日本語にさまざまな苦勞をしながらも熱心に取り組み、結果を出されているのを見ては、私自身自らを顧みて、もっと勉強をしようと強く決意するきっかけともなりました。

JET 日本語学校は、先生と学生の距離も近く、笑顔が絶えない、そして学業でも抜群の成果をあげている素晴らしい学び舎です。その環境で実りある楽しい日々を過ごす機会をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

初めての川柳・俳句が入選

第1回IFSA留学生川柳コンテスト(国際留学生協会主催)に、JETからは21名の30作品を応募し、3名の学生が入選しました。

これらは「日本事情」と中上級クラスの授業で俳句、川柳を鑑賞し、初めて作ってみたものです。折しもコンテストがあるというので、学生たちが作ったものをすべて投句しました。和歌を趣味とする井上靖夫先生の指導を受けたものもあります。全体で516作品の応募があったそうです。

銅賞 静寂を 破り来たるは 夏の蟬 (台湾 林陳佑)
佳作 竹林 添水響いて 麦茶汲む (香港 梁永燊)
お客なし バイトの夜の 三時間 (台湾 殷婷儀)

林さんの台湾の日本語の先生は JET 卒業生の陳佑蟬さん(2008年卒・高平日語代表)です。入選作の季語が恩師の名と同じ「蟬」だけに、早速報告し、喜びを分かち合っていました。梁さんは4月からずっとオンライン受講ですが、授業のあとも時々俳句を作るようになったそうです。香港にいながら、季節感あふれる俳句を作ります。殷さんは7月のオンラインサマーコースの受講生で、台湾の大学の日本語学科3年生ですが、中学生の時にも JET のサマーコースに参加したことがあります。

たった1度の授業で俳句や川柳を紡ぎ出す学生たちに、感銘を受けました。(得猪)

新任教師からのメッセージ

4月期から JET の教師陣に加わった中馬先生から、JET の学生へのメッセージです。

◎ 中馬陽子先生

コロナ禍でのスタートで、皆さんの顔は上半分しか知りません。が、授業を通して少しずつ見えて来ました。いろいろと大変な状況ですが、いい学校、いい学生さんたちにめぐり会えて幸せです。

どうぞよろしくお祈りします。



後援会会費納入のお願い

JET 日本語学校後援会は奨学金・学習奨励金の給付等、本校で学ぶ学生達を支援しています。新型コロナウイルス感染症の影響で入国できないオンライン学生への教材の郵送料などは、後援会からの支出によるものです。

2020年度は延べ22名の方から282,000円のご支援をいただきました。本校の教育事業にご賛同いただける方は、会費を納入していただければ幸いです。

年会費：3000円 賛助会費(一口)：2000円

郵便為替口座：00140-1-101927 JET 日本語学校後援会

★ ★ ★

海外からのお振込みの場合は、手数料のかからない決済代行サービス flywire をご利用いただけます。

<https://www.flywire.com/pay/jet-academy/>

学 校 日 誌

- 8月31日～9月2日 基礎科期末試験
- 9月6日 企業経営者との意見交換会(4面)
- 9月6日、9日 進学科期末試験
- 9月7日 山口校長 ラジオ出演(4面)
- 9月14日 漢字クラス期末試験
- 9月17日 卒業式

日本語コース(基礎科)を10名が修了しました。

授業終了後、山口校長が各クラスをまわり、卒業生に修了証書を授与しました。困難な状況下でも最後まで勉学に励んだ卒業生の皆さん。新天地での活躍を期待しています!

○9月21日～30日 新入生インタビュー・予備授業

新入生の日本語レベルを測り、10月からのオンライン受講へスムーズに移れるようにするため、Zoom等でオンライン面談や予備授業を行いました。

- 10月1日 クラス分けテスト
- 10月4日 基礎科授業開始
- 10月5日 漢字クラス分けテスト

レベル別に5つのクラスに分けました。緊急事態宣言中は課題提出のかたちをとっていたため、対面での長期開講は1年半ぶりです。

- 10月11日 オンライン入学式(1面)
- 10月18日～29日 学習院大生の教育実習(2面)
- 10月19日～11月12日 北区日本語教室(4面)
- 10月23日 JASSO 日本留学オンラインセミナー(4面)
- 10月27日 JLPT 模擬試験

12月5日のJLPTに向けて、語文研究社・日本語ブックス主催の全国模試を校内で実施しました。N1、N2で計13名が参加しました。実際の試験会場にいるつもりで臨んだ学生達。本試験前の良い練習になったのではないのでしょうか。

- 11月1日 就職ガイダンス
- 11月9日、15日、22日 就職セミナー
- 11月12日～14日 第35回新やっさ国際交流(次号掲載予定)
- 11月14日 第2回 日本留学試験(EJU)

《今後の学校行事予定》

- 11月30日 板橋区立桜川小との交流
- 12月10日 文楽鑑賞教室
- 12月16日 避難訓練
- 12月18日 佐々木真フルートコンサート
- 12月22日 大交流会

毎年恒例、年末の大忘年会ですが、情勢を鑑みて対面での実施を見送る判断をしました。昨年度と同じく、全校でオンラインでの交流イベント、「大交流会」を開催する予定です。オンラインでも楽しめるゲームを学生たちと考案しています。

◆校内のワクチン接種状況◆

11月12日現在、教職員は94%、学生は95%がワクチン2回の接種を終えました。

2年ぶり「企業経営者との意見交換会」

—地域との繋がりにから新たな職場体験へ—

9月6日、前期の校内就職セミナー(全6回)の締めくくりとして、「企業経営者との意見交換会」をオンラインで実施しました。昨年度はコロナ禍で中止となったため、2年ぶりの開催です。東京商工会議所北支部のきた経営塾7名の社長さんと奥山信也先生、6名の学生が交流しました。

まず学生からいきなり「企業経営者として大切にしていることは何ですか」という直球の質問。学生たちは、社長の明瞭な言語で熱く語られる思いに真剣に耳を傾けていました。小グループに分かれるブレイクアウト時間では、学生たちの悩みに対して貴重なアドバイスをいただきました。

その中で、「5社面接して落ちた。敬語に問題があるのかも」という学生のことばがきっかけとなって、「敬語の実地練習も兼ねて職場体験の場を作ることができますよ」という社長さんたちからのお声があがりました。現在、年内に職場体験実施を目指して準備が始まっています。(得猪)

就職おめでとう！

【2021年度 就職内定状況】

2021年度は、たいへん厳しい状況であるにもかかわらず、現在5名の学生の日本就職が決まっています。そのうち3名、胡肇鈞さん(英国香港)、Choatchaojaru Kritsakornさん(タイ)、蔡雅筑さん(台湾)は、JETの就職セミナーで自己分析・企業研究を経て履歴書を完成させ、模擬面接を行ないました。決して平坦な道のりではありませんでしたが、あきらめず健闘し、内定を獲得しました。データエンジニア、販売、営業マンとして働きます。

Kenichi Adriel Lumban Tobingさん(インドネシア)、Nobnomtham Rattayaさん(タイ)も、母国の会社の東京支社で勤務開始しています。

よくぞここまで。さあ、これから。新入社員たちを応援していますよ！

2021年度奨学生 追加決定し6名に

文部科学省の学習奨励費の追加募集があり、Michael Ryanさん(インドネシア)と洗楽謙さん(香港)の2名が決定しました。10月から来年3月まで支給されます。

また、千本財団第4期奨学生としてNathanael Ian Gunadiさん(インドネシア)が決定しました。こちらはJETで10月から卒業までの6か月と、進学先の大学での受給が予定されています。

今年度の受給が決定した奨学生はこれで計6名になりました。みんなの模範となって、一層の努力と健闘を期待しています。

北区日本語教室 二度目の開催

来年度の本格始動に向けて

10月19日～11月12日にかけて、北区による第2回トライアル日本語教室(全8回)が開催されました。私(山口)が講師を務めました。

今回は、昼の部と夜の部にわかれ、合計16名の方が参加しました。ほとんどの方が日本語を習うのは初めて。みなさん目をキラキラさせて、授業に臨んでいました。「こんなにたくさん日本語を話したのは初めて」、「また、やりたい」といううれしい言葉をたくさんいただきました。

この日本語教室は来年4月から本格的に始動する予定です。
(山口)

日本留学オンラインセミナーに山口校長

10月23日に行われた日本留学オンラインセミナー(JASSO主催)で、山口校長が講師を務めました。

テーマは「日本で大学進学をめざす人へのアドバイス」。日本で大学に行くために必要な試験や日本語力という基本的な話から、EJUで高得点を取るための試験対策、2次試験の面接や小論文の対策についての話をしました。

山口校長が最も強調したのは、「なぜ日本留学なのか？なにを学びたいのか？なぜそれを学びたいのか？について、何度も何度も考えること」、そして、「最後まであきらめないこと」の2つ。

86名の方が視聴し、ラスト30分は質問の嵐。世界中の多くの方が真剣に日本留学を考えていることがひしひしと伝わってきたセミナーでした。

◆こちらからご覧いただけます！

<https://www.youtube.com/watch?v=nLCDGhkrmRI>

初めてのラジオ出演

9月7日、渋谷クロスFM「音楽マンションプレゼンツ Life with Music」に出演しました。これは、本校の越野理事長がパーソナリティを務めるラジオ番組です。初メディア出演ということで心も体もガチガチ！限られた時間の中で言いたいことを伝える難しさを感じました。「JETの在校生、卒業生は本当にいい学生たちです！大好きです！」ということだけは大きな声で話してきました。(山口)



◆こちらからご覧いただけます！

<https://www.youtube.com/watch?v=H9Aj4UmWckQ&t=8s>

アウンサーの小松原亜矢子さん(右)
当日のもう一人のゲスト武藤正義さん(左)